

「昭和」の生活を見る

「昭和」の人々の暮らしはどのようなものだったのでしょうか？さまざまな資料から「昭和」の生活の様子を読み取ることができます。

● 数字で見る

- 『**家計調査年報**』(B365.4)【書庫】
世帯の収入・支出のほか各種食品や衣料品など細かい品目ごとの支出額もわかる。昭和29年版から所蔵。
- 『**国民生活白書**』(B365)【書庫】
当時の家庭生活の様子がわかる。様々な統計資料も掲載されている。

● 写真で見る

- 『**宮本常一が撮った昭和の情景**』
上・下巻(382.1)【4F】
民俗学者・宮本常一が撮った昭和の庶民生活の記録。
- 『**写真家寺西二郎の見た昭和**』
(748)【3F】
名古屋の日常風景を写した写真集。



『宮本常一が撮った昭和の情景』上巻
宮本常一/著
毎日新聞社(2009)

● 品物で見る

- 『**あこがれの家電時代**』(592.4)【4F】
『三種の神器』と言われた時代から昭和の終わりまでの家電の歴史をふんだんな写真とともに紹介。
- 『**国産はじめて物語**』(675.1)【4F】
国内初、世界初などの国産第一号の日本製品を紹介。開発の裏話などを掲載している。



『あこがれの家電時代』清水圭一/著
河出書房新社(2007)

● 流行で見る

- 『**新語・流行語大全 ことばの戦後史 1945→2005**』(R814.7)【3F】
時代が生んだ「新語・流行語」を収録。1984年から始まった「新語・流行語大賞」受賞語も掲載されている。
- 『**ACC CM年鑑**』(B674.9)【書庫】
CMフェスティバルの入賞作品を掲載。当時の流行を知ることができる。

● 食品で見る

- 『**近代日本食文化年表**』(R383.8)【4F】
幕末から昭和末までの食の歩みがわかる本。商品や外食店の初登場年なども掲載されている。
- 『**なつかしの給食**』(374.94)【4F】
昭和30～40年代の人気献立50品を紹介したもの。完全再生レシピ付き。続巻として、全国の献立表を紹介した『**なつかしの給食 献立表**』もある。



『なつかしの給食』アスペクト編集部/編
アスペクト(1997)

Pick Up!

『昭和の家事』(590.21)【4F】

明治生まれの女性が家事をする姿を撮影した記録映画を書籍化したもの。今では失われてしまった昔の家事技術と、その奥深さがわかる一冊。



『昭和の家事』
小林和子/著
河出書房新社(2010)

● コラム ● 学校給食 ～いま・むかし～

日本の給食は、明治22年山形県の私立小学校で、おにぎりと少しのおかずを出したのが始まりだそうです。そして戦後間もなくの昭和21年、「学校給食実施の普及奨励について」という通達が出され、次第に全国に給食が広まります。愛知県でも昭和22年に9市で始まり、昭和27年には全域で実施されるようになりました。その後、メニューは多様化され、昭和41年にはソフトめん、昭和51年に米飯が導入されました。パンの種類も増えて、現在ではチーズロールパン、クロワッサンなど13種類もあるそうです。